

地方創生応援税制活用事業(令和5年度実施事業)進捗状況

No.	寄附活用事業名	事業概要	重要業績評価指標 ※企業版ふるさと納税のKPIについては、第2期秋田市総合戦略の基本目標のKPIを準用している。(目標値は令和6年度時点)。	達成に寄与する第2期総合戦略の基本目標	計画開始時点(R1)	R4実績	R5実績	目標値(R6)	実施状況	事業の検証	担当部局(担当課所室)
1	ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・総事業費 1,386,440円(600,000円) ( )は寄附総額 ・寄附企業 (株)プライムアシスタンス (株)ビートレーディング	ワーク・ライフ・バランスを推進するための普及啓発に努めるとともに仕事と子育ての両立支援に取り組む企業の認定により、子育てを社会全体で支える気運の醸成を図る。	合計特殊出生率	【基本目標1】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1.26	1.24	1.16	1.60	仕事と子育ての両立支援や子育てにやさしい活動に取り組む企業を秋田市独自の基準で審査し、「秋田市元気な子どものまちづくり企業」として認定した。11月22日にはその中でも特に優れた取組を行った企業の表彰式を行った。 11月20日～26日を「秋田市ワーク・ライフ・バランス推進週間」とし、市SNS等を用いてPRを実施。また、その一環で、1月20日(未就学児)と1月28日(小学校低学年)に、父子向け家事&育児実践イベントを開催した。 授乳の場またはオムツ替えの場がある施設を「赤ちゃんのえき」、ベビーカーやキッズルーム設備などがあれば「子育てにやさしい施設」として認定し、PRステッカーやタペストリーを配布し、施設の普及を図った。 イクボス宣言を秋田市役所の庁内課長級以上の職員へ依頼した。	企業に対しては、秋田市元気な子どものまちづくり企業認定・表彰制度を実施することで、子育て支援への意欲を高めさせることができた。また、市民に対しては、ワーク・ライフ・バランス推進週間中のSNSでの配信や父子向けの家事&育児実践イベントを行うことで、ワーク・ライフ・バランスの推進を働きかけることができた。 引き続き、より男女ともに仕事と子育てを両立しやすい社会づくりを目指し、必要があれば事業や制度の見直しも検討しつつ、子育てを社会全体で支える気運の醸成を図っていく。	子ども未来部(子ども総務課)
2	ビジネススタートアップ支援事業 ・総事業費 10,257,500円(500,000円) ( )は寄附総額 ・寄附企業 (株)角弘	チャレンジオフィスあきたを拠点に、起業に関心のある方の掘り起こしや交流を促進することなどにより、起業家を創出・育成する。	市の施策による就業機会確保数(正規雇用転換を含む)	【基本目標2】魅力的で安定したしごとの場をつくる	2,452人(H28～R1)	4,121人(H28～R4)	4,631人(H28～R5)	4,702人(H28～R6)	創業支援拠点施設「チャレンジオフィスあきた」の起業家交流室を主会場に、新たな起業家の掘り起こしや起業に関心のあるかたの交流促進および育成を行うとともに、大学等と連携し、スタートアップガレージ(学生向け起業セミナー)の開催を支援した。	令和5年度は延べ243回のイベントを開催し、延べ760名が参加、10名が創業した。参加者のニーズに合わせて起業準備者同士の横のつながりを強化することを目的とした起業家成長意見交換会を新たに設けるなど、イベント内容を変更したこと等により参加者アンケートの満足度も高い。 引き続き、チャレンジオフィスあきたを拠点として、若年層に対し起業家精神の醸成に取り組むなど、創業支援体制の充実を図るとともに、起業に向けた補助制度や融資制度などの支援策を実施していく。	産業振興部(商工貿易振興課)
3	外国人材受入支援事業 ・総事業費 1,606,000円(500,000円) ( )は寄附総額 ・寄附企業 (株)ライトカフェ	市内企業の人手不足解消と地域産業の振興発展を図るため、市内企業の外国人材受入れ状況や今後の意向、必要な支援を把握する事を目的とした外国人材活用ニーズ・実態調査を実施する。	市の施策による就業機会確保数(正規雇用転換を含む)	【基本目標2】魅力的で安定したしごとの場をつくる	2,452人(H28～R1)	4,121人(H28～R4)	4,631人(H28～R5)	4,702人(H28～R6)	令和5年に「秋田市外国人材活用ニーズ・実態調査」を下記のとおり実施した。  【概要】計20問(外国人材雇用・受入とその支援、日本語でのコミュニケーションに関する支援、生活環境・住居に関する支援、雇用環境に関する支援)について調査を実施。 対象……………市内企業1,000社 方法……………調査票郵送によるアンケート 期間……………令和5年6月21日(水)～7月10日(月)まで 有効回答数…有効回答数506件(回答率50.6%)	調査の結果、①市内事業所の外国人材雇用・受入の状況、②行政に対する支援の要望(雇用・受入、日本語でのコミュニケーション、生活環境・住居、雇用環境などに関する支援)について、把握することができた。 令和6年度は、調査の結果を踏まえ、要望が多かった、①企業向けに情報提供を行うセミナーの実施、②留学生や外国語指導助手(ALT)などの外国人材を対象とした企業との就職相談会を開催することとしている。 今後も調査結果を分析し、新たな施策を検討していく。	産業振興部(企業立地雇用課)
4	まちへの誇りと愛着醸成事業 ・総事業費 2,905,771円(2,343,000円) ( )は寄附総額 ・寄附企業 (有)オйкаワ (株)齋彌酒造店 (株)プライムアシスタンス (株)ライトカフェ (株)大商金山牧場	行政と市民が一体となった様々な活動を行う中で、自らの住む地域に関わる当事者意識を育む仕組みをつくりながら、市内外のかたに「秋田市を好きになってもらう」ことを目的に、秋田市への誇りと愛着醸成の促進を図る。	市外への転出超過の改善転入者-転出者	【基本目標3】多様なつながりを築き、秋田市への新しいひとの流れをつくる	-411人	-10人	-239人	-246人	秋田駅や市内高校、イオンモール秋田等で本市の公式インスタグラムに投稿された自然や風景等の地域資源を写した作品を展示する「インスタグラム写真展」を開催した。 また、インスタ写真展の開催にあたり、まちへの誇りと愛着醸成パートナー企業等からの協賛を募り、本市の取組を理解していただくとともに、連携に係る意見やアイデアをいただく機会として、同パートナー企業への説明会を開催し、22社が参加した。 さらには、石井露月顕彰全国俳句大会兼秋田市短詩型大会の全入賞作品の内、本市の地域資源の魅力を詠んだ俳句を「まちへの誇りと愛着醸成賞」として最優秀賞1点、優秀賞2点を選出し、表彰した。	公式インスタグラム写真展は、市民、帰省客、観光客等が本市の魅力に触れて愛着を深める機会とするため、JR各駅や高校、イオンモールなど16会場で実施。展示写真全551枚のうちフォロワーが投稿した写真を185枚展示し、市民等が主体的に本市の地域資源を発掘・発信する機会創出にも繋がった。また、フォロワー数は989人増加し、高校と連携したインスタ投稿には県外からの好意的な反応もあった。 まちへの誇りと愛着醸成パートナー企業との連携については、次年度以降の事業への協力を申し出た企業もあり、今後の連携強化の土台作りに繋がった。 石井露月顕彰全国俳句大会兼秋田市短詩型大会は、表彰作品を広報あきたで周知することにより、市民自ら掘り起こした本市の魅力を知ることができた。	企画財政部(人口減少・移住定住対策課)

No.	寄附活用事業名	事業概要	重要業績評価指標 ※企業版ふるさと納税のKPIについては、第2期秋田市総合戦略の基本目標のKPIを準用している。(目標値は令和6年度時点)。	達成に寄与する第2期総合戦略の基本目標	計画開始時点(R1)	R4実績	R5実績	目標値(R6)	実施状況	事業の検証	担当部局 (担当課所室)
5	未来創造人材育成・映像プロモーション事業 ・総事業費 89,057,000円 (89,057,000円) ( )は寄附総額 ・寄附企業 吉野石膏(株) (株)プレステージ・コアソリューション (株)プライムアシスタンス (株)NTTドコモ (株)マノサリー	本市の若者が著名俳優・監督等といった映画のプロと本市の魅力を掘り起こす映像ワークショップを行い、短編映画を制作し、若者の挑戦に関する継続的なプロモーションとシビックプライドの醸成を図る。	市外への転出超過の改善 転入者－転出者	【基本目標3】 多様なつながりを築き、秋田市への新しいひとの流れをつくる	-411人	-10人	-239人	-246人	民間の短編映画製作プロジェクト「MIRRORLIAR FILMS」と連携して、映像製作などのコンテンツ産業に関心のある若者が一流のクリエイターとともに短編映画の制作などに取り組む挑戦に対し、参加クリエイターはもとより、寄附企業、地元の支援者など、様々な方が関わり、まちが一体となって応援した。 一流クリエイターが市内で撮影する短編映画4本に、市内大学生や若手クリエイターらが参加した。また、プロから映画制作を学ぶワークショップで、市内大学生らが短編映画を2本制作した。他にも映画のポスターやグッズ制作、宣伝PRなどに学生が主体的に関わり、コンテンツビジネスを学んだ。 制作した映像作品の公開や国際的な映画祭への出品、制作過程のPRなどを通じ、「若者の挑戦を応援するまち」というメッセージを広く発信した。	市内6大学から40名の学生が参加し、一流のクリエイターと出会い、短編映画の制作を通じてまちを知り、このまちで夢に挑戦できる体験をしたことで、まちへの誇りと愛着を育むことができた。参加者からは、「秋田市の魅力を改めて知る機会になった」「秋田でも夢が叶えられることが分かった」「これからも秋田で映画やクリエイティブな挑戦がしてみたい。東京の人と仕事ができると分かった」「県外への就職が決まっているが、数年後地元・秋田で夢に挑戦しようと思う」などの感想が寄せられ、未来を担う人材の地元定着や将来的なふるさと帰郷等の意識が高まった。また、若者が活躍する姿を発信することにより、若者が魅力を感じるまちとしてシティプロモーションを推進し、映画制作などのクリエイティブな分野の関係人口を増やすことができた。	企画財政部 部 (人口減少・移住定住対策課)
6	小規模災害援助事業 (令和5年7月豪雨災害による復旧・復興関連事業) ・総事業費 266,860,000円 (25,096,500円) ( )は寄附総額 ・寄附企業 (株)アブリシエイト 住友ベークライト (株) (株)伊徳 (株)タカヤナギ (株)エレックス極東 太平電業(株) 八千代特殊金属(株) (株)INPEX (株)丸和運輸機関 (株)近代建築社 (株)TSコーポレーション (株)雄駿 高橋産業(株) (株)高橋商事 (株)丸茂組 (株)ミウラ産業 (株)ミウラ (有)イトケン (株)スイッチ	令和5年7月の豪雨災害の被害を受けた罹災者およびその家族に対して災害見舞金を給付し、災害からの復旧・復興を図る。	本市に住み続けたい人の割合 *しあわせづくり市民意識調査による(「事情が許せば、住み続けたい」を含む)	【基本目標5】 持続可能な魅力ある地域をつくり、安全安心な暮らしを守る	74.4%	-	-	80.0%	令和5年7月豪雨災害および9月大雨災害の被害を受けた罹災者およびその家族に対して災害見舞金を給付した。 【対象】 住家の全壊、半壊、床上浸水、一部損壊、床下浸水した世帯 全壊 100千円 床上 50千円 床下 30千円 重傷 50千円 【給付実績】 振込件数 振込金額 全壊 11件 1,100千円 床上 3,473件 173,650千円 床下 3,067件 92,010千円 重傷 2件 100千円 合計 6,553件 266,860千円	激甚災害に指定されるなど被害が大きく、床下浸水被害に遭った被災世帯が多数あったことから、給付対象外であった床下浸水世帯にも災害見舞金を給付できるよう「秋田市災害見舞金給付要綱」を一部改正し、生活再建に向けた支援につなげることができた。 今後も災害が発生した場合は、災害の規模に合わせて見舞金支給対象を検討し、被害を受けた罹災者およびその家族に対して速やかに給付することで、災害からの早期の復旧・復興を図る。	福祉保健部 (福祉総務課地域福祉推進室)